

公立小中学校における 主権者教育の現状について



(公社) 日本PTA全国協議会

参与 五十嵐智浩

令和元年7月26日(金)

平成30年度日本PTAの取組

総務委員会において各協議会の実施状況調査

「主権者教育の推進に関する検討チーム」中間まとめより
学校、家庭、地域の連携・協働による子どもたちの社会参画の充実として、

- ①地域住民参加型の多様な活動の実施や地域の多様な人材を構成員としたネットワークの構築
- ②子どもの生活習慣づくりのを推進すること



上記活動を総務委員会に所属する会長の協議会において、主権者教育がどのように行われているかを調査

調査対象：教育委員会（県または政令市）

結 果：高校で実施されているところがほとんど

PTA主体で「主権者教育」活動しているところは少ない

山形県

公民的資質を育てる教育
高Pとの合同教育懇談会

福島県

放射線教育等独自の
取組があり、なかなか
授業時間が取れない

栃木県

「未来の有権者
育成推進フォーラム」
開催

小中学校における主権者教育実施状況

富山県

「子どもとやま県議会」

京都市

京都市独自の体系的な
指導案集作成

徳島県

出前講座
模擬投票

山形県 小中学校における「主権者教育」の取組について

1. 主権者教育の視点から、小中学校に求められるもの

公民的な資質の育成

社会に出るための準備段階

- 社会で生きていくための基礎的・基本的な知識・技能の習得

よりよい社会を作り出す力の育成

- 社会の変化に対応できる資質・能力の獲得

- ・リアリティーのある学び
- ・社会との連携強化

	教科における取組	特別活動・児童会・生徒会における取組
小学校	<p>《社会科》 我が国の政治についての初歩的、基本的な学習</p>	<p>リーダーとしての活動とそれを支える活動の両方を体験。選挙は行わず、活動ごとにリーダーが変わる体験活動が中心。</p>
中学校	<p>《3年：社会科・公民の政治分野》 民主主義の考え方、政治参加の在り方について学習</p>	<p>生徒会を選挙で選出している学校が多い。選挙管理委員会を立ち上げ、公示を行い、選挙活動、生徒による投票を行う</p>

山形県

合同教育懇談会

→山形県P T A連合会と山形県高等学校P T A連合会、
教育委員会が合同で開催

1. 〔目的〕

県P連、県高P連が一貫した教育方針の下で、児童・生徒の学習環境や健全育成及び教育課程等について互いに研修を深め、その成果をP T A活動の充実・発展に資することを目的にする

山形県

平成28年度

2. 〔テーマ〕「主権者教育の推進に向けたP T Aの役割」 ～主体的に考え判断できる自立した社会人の育成を目指して～

- 子どもたちが、政治や社会、世の中の出来事などに興味や関心をもつことができる有効な手段や方法を考える
 - ・学校で取り組んで欲しいこと、家庭で取り組んでほしいこと
- 自ら考え判断できる自立した社会人を育む家庭の在り方を考える
 - ・成長期に対応した好ましい子どもへの接し方を考える
 - ・自立心を育むために日頃考えていること
 - ・家庭と学校の連携の在り方について考える

子どもたちが、政治や社会、世の中の出来事などに興味や関心を持つことができる有効な手段や方法を考える

- ・世の中で大切にされていることを体験させる
- ・親が政治に関心を持つことが大事
- ・教師は、政治的中立性を確保しなければならないため自分の意見を言えない。
学校での統一した授業は無理なのではないか

自ら考え判断できる自立した社会人を育む

家庭のあり方を考える

- ・町づくり等のボランティア活動を通して成長してほしい
- ・子どもの意見を待ち、親が決めつけない
- ・保護者が手を出しすぎているため、社会で生き抜く力が養われない。
大人が変わらなければならない
- ・子どもの力を信じる

現状では高校での教育がメイン

小中学校での取組の充実は今後の課題

調査を受けて総務委員の意見

- 「主権者教育」を初めて耳にした委員も多い
- 主に高校を中心に取り組みがなされている
- 次代を担う自立した大人（社会人）を育成していくために、小中学生が関心を持てる学校での指導、教育だけでなく、家庭、地域とそれぞれに何ができるかを密に連携していくことにより、更なる主権者教育の推進を図ることができる。

P T Aはその中核にあることから、主権者教育に対して更なる情報の共有をはかり、子どもたちの主権者教育をサポートしていく必要がある

単位 P T A の活動では・・・

★地域住民参加型の多様な活動の実施や地域の多様な人材を構成員としたネットワークの構築

★子どもの生活習慣づくりのを推進すること

→上記活動を積極的に行っている P T A は多数存在する

その意識付けのなかに「主権者教育」を付加していくことで
主権者教育を広めていくことができるのではないか

事例紹介

➡地域と一体となって P T A 活動を行った結果、地域の一員としての意識が芽生える

愛媛県新居浜市立 泉川中学校 P T A

- ・「愛さつ日本一」運動
- ・奉仕の日
- ・「愛ロード」美化活動
- ・親子クラスマッチ
- ・地域との情報協議会

岐阜県郡上市立 八幡西中学校 P T A

- ・公民館活動への参加
- ・防災について学ぶ（学校の取組）
- ・防災について学ぶ（P T A の取組）

新居浜市立泉川中学校 P T A



生徒数240名、学級数9学級、教職員23名
平成29年度に創立70周年を迎えるとともに、
新居浜市発のコミュニティスクールとしてスタート。

10年後、20年後に地域を支えていくのは現在の
小・中学生であり、その子どもたちを地域全体で育ててい
くことが地域の活性化に繋がることから、P T Aとして
地域や学校と連携しながら、子ども達を守り育てていく
活動を進める

所在地 〒792-0825 愛媛県新居浜市星原町7番8号

電話 0897-43-5800 / FAX 0897-43-5821

新居浜市立泉川中学校 P T A

地域とともに学校を支える P T A 活動

「愛さつ日本一」運動

奉仕の日

「愛ロード」美化活動

親子クラスマッチ

地域との情報協議会



新居浜市立泉川中学校 P T A

「愛さつ日本一」運動



子供達が毎朝元気に登校し、明るい挨拶を交わし学習するために「愛さつ日本一」を目指し

P T A、家庭、地域の見守り隊、地域住民が一体となって取り組んでいる
地域の方々は生徒達の成長を願い、温かい言葉を掛けて下さっている。

今後も、**地域の中で、挨拶を通して人との繋がりを大切にしながら成長していくことを願って挨拶運動を続けていく**

新居浜市立泉川中学校 P T A

奉仕の日

20年以上前から始まった「奉仕の日」。
全校生徒約240人が資源回収を行う。

生徒が地域住民に働きかけて行う取組で、
奉仕の大切さを学ぶと共に**交流が広がっている。**



あらかじめ住民に依頼状を配り、新聞紙や空き缶などを提供してもらい生徒が集めて回る。
保護者も近隣に働きかけたり運搬を手伝ったりして、回収に一役買っている。
交通量の多い場所には「見守り隊」の方々が立ち、安全確保に尽力いる。

生徒が地域の人とコミュニケーションをとることで地域をより深く知ることができ、地域を愛する気持ちが強くなり、地域の将来を支える存在となっていく

新居浜市立泉川中学校 P T A

「愛ロード」美化活動



地域の人と協力して国道バイパスの環境を整える『あいロード』美化活動。

児童・生徒とともに、保護者や地域住民も参加して、ゴミ拾いや草引き、苗植えなどの作業を定期的に行っている。

校区の真ん中を通過する国道バイパスは、開通当初「校区を分断し、地域の繋がりを断ってしまうのではないか。」とさえ危惧されていたが、今では『あいロード』を「私たちの道」「愛する道」と捉え、校区のシンボルとし、生徒達とともに取り組んでいる。

新居浜市立泉川中学校 P T A

親子クラスマッチ



学校が荒れた時期、親の本気を見せることができる活動はないかと考え実施された。

夏休みの日曜日、男子はソフトボール、女子はバレーボールに分かれ、保護者チームを交えたクラスマッチを行い、親も子も本気で対決している。

親子がともに汗を流して活動することで、子は親の存在の大きさを再認識し、親は子どもの成長を実感する。

家族のコミュニケーション不足の解消にも一役かっている。

新居浜市立泉川中学校 P T A

地域との情報協議会



約十年前から始まった情報協議会は、校長先生をはじめとする小・中学校の先生方、P T A 役員、連合自治会長、主任児童委員・市議会議員、地域住民らが毎月集まり、学校の現状報告を受け、**地域全体で問題の解決策を考える場である。**

先生方の訪問では会うことすらままならない不登校生徒やその保護者に対し、民生児童委員や主任児童委員が介することで繋がりを維持する。

非行などの問題行動をする生徒を、P T A 役員でもある校区の事業主が、**自社での職場体験を通じて指導し改善を図ることなど、様々な成果を上げる**

学校だけでは解決が難しい問題であっても、

P T A や地域が連携することによりスムーズな解決が図られている

生徒の変容

- 多くの地域の大人達と接することで、コミュニケーション能力が向上したり社会性が育成
- 規範意識の高まり**
- 地域内での挨拶が活発になり、そのことが地域を大切にする心の育成に繋がっている。

地域の変容

- 学校に対する関心が高まり、学校のために惜しみない力を提供してくれる人が増加
- 子ども達だけでなく、保護者を含めた家庭を支え、「子ども達は地域で育てる」との思いが強まる

P T A の変容

- 地域住民の学校への支援受け、学校支援も学校からの要望に応えるだけでなく、

自主的に校区内を巡回、他校 P T A との横の繋がりを模索、

↓
意識の高まり